

やりたいこと色々! できること色々!!

パソコン用多機能地図ソフト

商品カタログ



スーパーマップル・デジタル

# Super Mapple Ver. 7

Digital

for WindowsXP/2000/NT4.0/Me/98

震災時  
帰宅支援情報の  
ダウンロード



色覚を配慮した表示や  
バリアフリー情報も収録  
人にやさしい  
地図表現

平成の大合併に  
完全対応  
+ 市町村合併冊子付き

商品についての詳細については、以下のWebページをご参照ください

<http://www.mapple.net/smd/>

昭文社

中域図の増強でより見やすく

# 精細な地図データ

広域図 1:400,000~1:50,000



Super Mapple Digitalは、自由に拡大・縮小が可能な高精細ベクトル地図(広域図・中域図・詳細図)を採用しています。今回のVer.7では、従来SiMAP1:50,000図データのみで作成されていた中域図データに、新しくSiMAP1:25,000図データを追加することにより、表示内容を飛躍的に向上させました。また、広域図・中域図・詳細図それぞれの段階での表示内容を大幅に見直し、どの縮尺の表示でも重要な文字やシンボルがはっきりと見えるよう、最適な調整を行っています。

※SiMAPとは昭文社が独自に開発した地図データベースの名称で、従来は、SiMAP1:200,000、1:50,000、1:10,000をそれぞれ広域図・中域図・詳細図としていました。  
※エリアによっては、中域図においてSiMAP1:50,000データのみを利用する場合があります。  
※地図データの収録範囲は商品によって異なります。

中域図(1:50,000データ) 1:50,000~1:18,000



中域図(1:25,000データ) 1:18,000~1:8,000



**索引図(日本全国/地方図)**  
検索バー上部の索引図は日本全国、地方図1・2と3段階の縮尺に表示を切り替えられます。ドラッグ移動させてダブルクリックすると、その位置を中心に本体の地図が移動します。

詳細図 1:8,000~1:1,000



## 地図表示スタイルの切り替え

「標準の地図表示」から「白地図」や「鉄道・バス強調」など目的に合わせた地図表示スタイルに変更することができます。また、表示したい分類を絞り込んだ新しい地図スタイルを追加することもできます。Ver.7では表示設定ができる分類をさらに細分化しました。



▲白地図



▲鉄道・バス路線強調

このほかにも「淡色表示」や「高速道路強調」、「トワイライト表示」などの表示スタイルがあります。

**S**uper Mapple Digitalは、文字や線が個々にデータ化された高精度なベクトルデータを採用しています。これにより、「スーパーマップル」「街の達人」をはじめとした出版物相当の地図表現を実現しました。またベクトルデータ

の特性により、自由な拡大・縮小や様々な地図表現への切り替えも可能です。

# 震災時帰宅支援情報 ダウンロード



▼専用ページから東京・名古屋・大阪の各方面別のルートを選択してダウンロードすると、下のように情報が表示されます。作成したルートを選択し「経路再生機能」を利用すると、作成したルートパソコン上で再現(シミュレーション)することができます。



◀「震災時帰宅支援マップ」は震災時、都心部から自宅まで歩いて帰るための地図出版物で、商品別に都心(東京・名古屋・大阪)から各方面の主要帰宅ルートやそのルート上の注意ポイントや広域避難場所などの情報が掲載されています。※「震災時帰宅支援マップ」本体は入っていません。

出版物として好評発売中の「震災時帰宅支援マップ」に掲載されたポイントやルート情報がダウンロードできます。いざというときに備えて、予行演習として自宅までのシミュレーションウォークに、また企業などでの危機管理対策にと利用できます。ルート以外の情報を独自で追加記入することで、オリジナルの帰宅ルートマップを作成。震災時に備えて、印刷したり携帯電話に入れておくという利用もできます。詳しくは起動時に表示されるガイドマップをチェック!

※インターネット接続が必須です。  
※データは東京・名古屋・大阪のみです。



▶起動時に表示されるガイドマップでは、この「震災時帰宅支援情報」の活用・利用方法を紹介していますのでご覧ください。

## 人にやさしい地図表現

Ver.7ではバリアフリー対応トイレなどの情報を追加するとともに、さまざまな利用状況に合わせて色弱者に配慮した色の表示や文字を大きくした表示などへの切り替えを入れています。

### 色覚UD表示

色弱者が見やすいように色を調整した表示への切り替えができます。特に道路・道路情報に重点をおいて、配色や太さを調整しています。右の画面は左の画面を色弱者が見た場合の見た目になります。

色覚UD(ユニバーサルデザイン)表示



シミュレーションツール(Vischeck)で変換後



※表示スタイルは、メインの地図のみが変化するものです。色覚UD表示についてはモニターや照明条件などで左右される場合があります。全ての方が見やすくなるとは限りません。シャープのPC-MV1-SCA×ヒュースノートとダイナコネクティブ社製液晶モニタDY-L1911MNのデフォルト設定、D型強度タイプのチェックを行っています。  
※VischeckはPhotoShopなどのシミュレーション用のプラグインツールです。右上の画像についてはD型強度タイプでの変換を行っているもので、タイプや強度によって異なるため全ての方がこのように見えるとは限りません。

### 地図情報の追加

Ver.7では新たにバリアフリー対応公衆トイレなどの情報を追加いたしました。



公衆トイレ



バリアフリー対応公衆トイレ



踏切



歩行者用踏切

※このほかにもファミリーレストランなどのアイコン化など表示を改良しています。

### でっか字表示

小さい文字で見づらい場合は、「でっか字表示」をご利用ください。Ver.7では表示を改良し、縮尺によりより適正なサイズで文字を大きく表示するようにしました。



## 平成の大合併完全対応

2004年6月  
(Ver.5時点)  
**3098**



2005年5月  
(Ver.6時点)  
**2376**



2006年5月  
**1820**

県境を越えての合併が発生したり、面積が東京都に匹敵する大きさの自治体が誕生したりと、ここ数年大きな話題となっていた市町村合併。「平成の大合併」とも呼ばれる動きにより、3年前に3,000以上あった全国の市町村数は、2006年5月の時点で1,820に再編されています。この他にも、2005年4月に静岡市が、2006年4月には堺市がともに政令指定都市となるなど、日本の市町村区分は大きく変化しました。Ver.7ではこれらの大きな変化に合わせ、地図・検索データともに、2006年5月までの最新情報を収録しています。

※合併前後の市町村名については、付録の市町村合併冊子やWebページをご覧ください。



### 詳しく分かる市町村合併冊子付き!

Ver.7には別冊付録として市町村合併冊子が付いてきます。都道府県別の地図、2001年以降の合併リスト、市町村面積ランキングなどの情報が入っているなど、この一冊で全国の市町村合併の様子が一目で分かります。Ver.7の地図データの内容把握にご利用いただけます。

### 2006年に誕生した主な新市町名

北斗市、大空町(北海道)、奥州市(岩手県)、つくばみらい市(茨城県)、みどり市(群馬県)、南房総市(千葉県)、中央市(山梨県)、北名古屋市(愛知県)、与謝野町(京都府)、紀美野町(和歌山県)、まんのう町(香川県)、嘉麻市(福岡県)、国東市(大分県)



もれなく付いてくる!

# いろいろできる多機能な地図ソフト

# Ver.7インターフェイス——各部の名称と機能



※実際に印刷されるイメージをはめ込んでいます。

## 索引図

表示されている地図の周囲を確認する地図です。右側のボタンで縮尺を3段階に表示を切り替えられます。索引図をマウスドラッグで移動+ダブルクリックで右側の地図画面も移動します。

## 検索バー

地図検索操作を行うツールバーです。上部の索引図のスペースを縮小すれば、検索結果一覧を広げられます。左右方向の拡大・縮小も可能です。またメインバーの「検索」ボタンで表示/非表示を切り替えられます。

## ステータスバー

地図の縮尺や座標などの情報を表示するバーです。

## メインバー

移動/選択モードの切り替えや印刷やプランニングの実行などよく使う機能をまとめたバーです。

## 情報管理バー

地図上に記入された情報を管理・表示するツールバーです。カスタム情報記入モードとプランニング記入・結果モードで表示状態が異なります。左右方向の拡大・縮小が可能です。初期起動時非表示です。

## ズームバー

つまみを上下移動させることで、1:400,000(広域図)～1:1,000(詳細図)まで地図を自由に縮尺変更することができます。

## 基準縮尺ボタン

4つのボタンで、地図表示を広域・中域・詳細図の基準縮尺(それぞれ1:100,000、1:25,000、1:10,000、1:5,000)に切り替えます。

上の画面はSuper Mapple Digitalの基本的な画面構成です。情報管理バーは初期起動時は非表示です。メインバーの「情報」ボタンを押すと表示されます。各種のボタン・バーの表示については、上の画面のように必要に応じて地図ウインドウだけを広く表示することもできます。画面左側の検索バーで検索や地図位置の確認・移動を、右側の情報管理バーで情報の記入やプランニング作成などを行います。

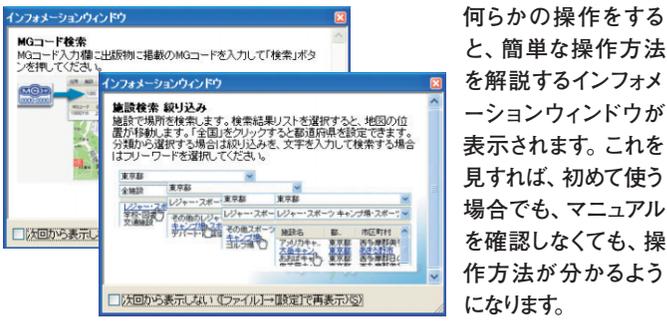
## 初めての人も分かりやすくなっています

### ガイドマップ(簡単活用ガイド)



起動すると最初に表示される簡単活用ガイドです。旅行計画や会社でのマーケティングなどメニューを選択すると、実際の活用・利用方法などを紹介するページを表示します。サンプルデータも入っていますので、実際にどういう表示になるかも一目瞭然です。メインバーの「ガイド」を押せば、後からでも見ることができます。

### インフォメーションウインドウ



### マップルバーInternetExplorer拡張機能

インターネットでさまざまなホームページを見ていてちょっと地図で場所を確認したいといったときにホームページの文字情報から住所・施設検索を行い、Internet Explorer内に地図を表示する機能がマップルバーです。

メニューでは、住所検索が施設検索のいずれかを選択します。(検索データはSuper Mapple Digitalのものを利用して)

ドラッグ&右クリック・検索で地図出現!